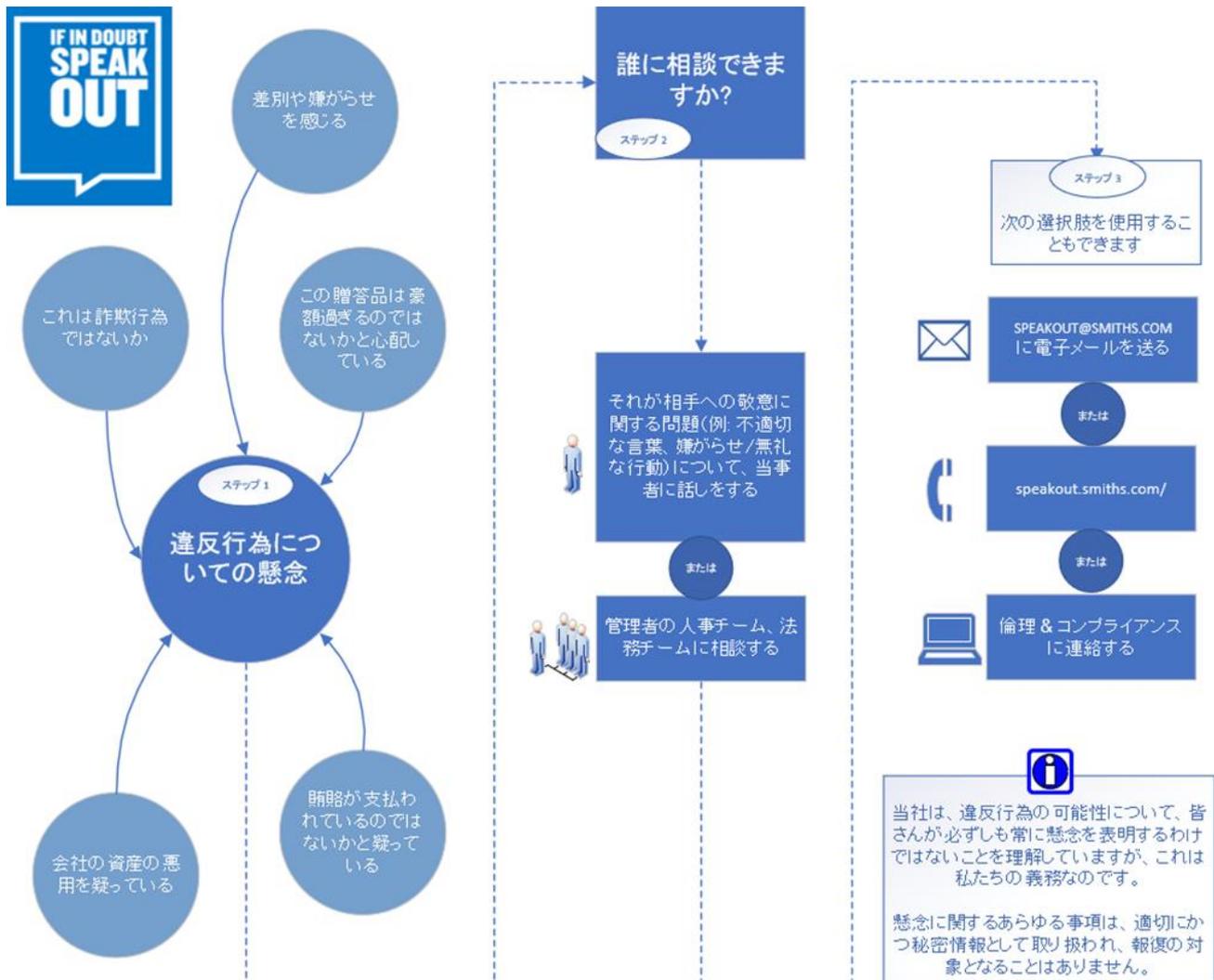


Speak Out Policy

Business Controls | 2.2 | Smiths Group Policies

Mandatory Policy



背景

スミスでは、誠実さとインテグリティをもって当社事業を遂行することをコミットしています。私たち全員が、高い基準を維持し、私たちの企業倫理規範を尊重することを期待されています。違法または非倫理的な行動を防止し、問題が発生した場合に対処するには、オープン性と説明責任の文化が不可欠です。違反行為の可能性について沈黙を守ることで、状況を悪化させる可能性があります。疑問を感じたら、声を上げましょう。

この「グループ方針 2.5 – スピークアウト」は、スミスグループとその部門に所属するすべての従業員に適用されます。本方針では、すべての人が適切なチャネルを通じて不正行為を報告することを奨励しています。懸念を報告する方法に関するガイダンスを提供し、スミスの調査プロセスを説明します。また、スミスでは、懸念を提起した人に対するいかなる形の報復も容認しないことを同僚の皆さんに思い出していただきます。

方針 2.5 – スピークアウト

誰が声を上げるべきですか？

スミスまたはそのビジネス パートナー内部での違反行為の可能性やそのような行動について、誰でも自由に声を上げて懸念を表明する必要があります。

スミスグループまたは任意の部門の責任者に問題を報告するか、スミスのスピークアウト ホットラインに懸念事項を提出することにより、誰でも声を上げることができるようにしなければなりません。これには、スミスのために、またはスミスの代理として従事するすべての人員（同僚、インターン、請負業者、一時作業員など）、またはスミスと取引関係にある人々（ビジネスパートナー、サプライヤー、株主、代理業者、流通業者、代表者、政府関係者、および顧客）が含まれますが、これには限定されません。

スピークアウト ホットラインにはどのような種類の問題を報告する必要がありますか？

スピークアウト ホットラインは、スミス社内またはそのビジネスパートナーによる職場での違反行為、不正行為の疑い、または職場での危険性に関する真摯な懸念を提起するために使用してください。違反行為には、法律、スミスの企業倫理規範、サプライヤー倫理規範、人権に関する方針、またはスミスが運営するその他の方針への違反が含まれます。

スピークアウト ホットラインを使用して提起すべき懸念事項の例:

- 詐欺、会計または監査の問題に関する懸念事項
- 差別またはハラスメント（嫌がらせ）
- 競争法または公共調達法および規則への違反
- 不適切な財務または非財務記録の保持
- 利益相反
- 賄賂または汚職

Speak Out Policy

Business Controls | 2.2 | Smiths Group Policies

Mandatory Policy

- 当社の人権に関する方針に対する違反。これには、強制/非自発的労働、児童労働、職場での非人道的な扱い、職場における不平等/偏見、生活賃金を得る権利、合理的な労働時間と休暇を得る権利、結社の自由、安全で健康的な職場を得る権利などが含まれる
- 製品の安全性の問題を含む、環境、健康、および安全性の問題
- 会社のリソースの不適切な使用
- 機密情報の開示
- 贈答品、食事、およびおもてなしに関する方針への違反
- データ保護義務の不履行
- 脱税または脱税の促進
- マネーロンダリングまたはテロ資金供与
- 当社の評判や財務状況に損害を与える可能性のある行為
- 輸出入管理法、規則、または方針への違反
- 法的または専門的な義務または規制要件の不遵守
- 上記の事項のいずれかの意図的な隠蔽

他の報告チャネルのほうに適しているのはどのような種類の懸念事項ですか？

- 生命、安全性、または財産に対する差し迫った脅威。これについては、必要に応じて、地域の緊急電話番号および現地の管理者を通じて、地域の管轄当局に連絡してください。
- 雇用条件に関してあなたが抱えている可能性のある質問や不満。これについては、ラインマネージャーまたは現地または地域の人事部門の同僚に相談してください。
- 自身の業績評価に関する対人間での意見の相違や質問。これについては、まず、当事者と話し合うことが最も効果的な対処法となるかどうかを検討します。また、ラインマネージャーまたは現地または地域の人事部門の同僚に懸念を提起することもできます。
- 虚偽の告発。虚偽の告発をした場合、懲戒処分の対象となります。

最初に誰に相談すべきですか？

一般的なガイドラインとして、あなたの懸念が意見の相違や無礼な態度などに関連している場合は、まず、当事者と話し合うことが最も効果的な対処法となるかどうかを検討します。これが適切でない場合は、下記のチャネルのいずれかを介して声を上げることができます。

その他の懸念事項については、多くの場合、懸念事項を提起するときに最初にアプローチする人物は、ラインマネージャー、人事部の同僚、または法務チームの同僚です。

違反行為が疑われ、部門内の利用可能なチャネルを通じて対処できない、または対処すべきではないと思われる場合、またはこれらの同僚と話すことに不快な思いをされている場合は、スピークアウトホットラインを使用してください。

スピークアウト ホットラインはどのようにアクセスできますか？

スミス スピークアウト ホットラインは、オンライン、電話、または電子メールでアクセスできます。

スピークアウト ホットラインでは、自国語を使用し、秘密厳守の情報として懸念事項を提起できます。スピークアウト報告書は、独立したサードパーティ ソフトウェアシステム内に保存され、スミスグループ 倫理 & コンプライアンス チーム (E&C) によって検討および管理されています。スピークアウト ホットラインは、24 時間年中無休で利用できます。

報告書を送信するには、下記の 3 つの方法があります:

オンライン



オンラインで懸念事項を提起するには、スピークアウト ウェブサイト (<<http://speakout.smiths.com>>) にアクセスします。ここからフォームに記入し、懸念事項を送信できます。また、部門イントラネットのホームページまたは **SmithsNow** アプリのメインメニューにもリンクが用意されています。

電話



電話で懸念事項を提起するには、お住まいの国に対応するスピークアウト電話番号をダイヤルしてください。電話番号はこちらをご覧ください:<<http://speakout.smiths.com>>

電子メール



違反行為の疑いについては、機密電子メール <speakout@smiths.com>から倫理 & コンプライアンス オフィスに報告できます。また、倫理 & コンプライアンス チームのいずれかに直接連絡していただくこともできます。

報告書を（オンライン、電話、または電子メールで）完了すると、「報告書キー」と呼ばれる一意のコードが届きます。このキーを使用して折り返し連絡することもできますし、ウェブサイト (<<http://speakout.smiths.com>>) にアクセスすると、報告の進捗状況を確認できます。報告書の対応担当者からあなたへのフィードバックや質問があるかどうかを確認できます。必要に応じて、追加情報を提供できます。匿名のままであることを選択した場合は、ウェブサイトを通じてしかあなたに連絡できないため、報告書キーが特に重要になります。スピークアウトを介して受信したすべての報告書は、E&C に戻され、さらに処理が行われます。

私のスピークアウト 報告書を見ることができるのは誰ですか？

上記のようにオンライン、電話、または電子メールで作成されたスピークアウト報告書は、スミス 倫理 & コンプライアンス チーム (E&C) の誰かによって調査されます。オンラインまたは電子メールで報告書を作成した場合は、報告書が E&C に直接送信されます。スピークアウト コールセン

Speak Out Policy

Business Controls | 2.2 | Smiths Group Policies

Mandatory Policy

ターに電話をかけると、コールセンターの担当者がスミス スピークアウト システムに情報を入力し、E&C にアラートが送られます。報告書を管理する E&C の担当者は、あなたの所在地とタイムゾーンによって異なります。E&C が報告書を受け取ったあとは、機密情報として保持されます（下記を参照）。匿名を希望する場合は、下記の「スピークアウト ホットラインに匿名で報告できますか?」のセクションを参照してください。

現地（つまり、その国の誰かによって、またはあなたが拠点を置いているサイト）での報告書の調査をご希望であれば、それは**問題ありません**。調査を開始するには、現地のマネージャー、人事部、または法定代理人に相談する必要があります。現地で調査を実施するための手配についてサポートが必要であれば、スピークアウト ホットラインから E&C にご相談ください。調査の結論は、調査の結論を実施国外で共有できない法的な理由がない限り、スミスの倫理管理システムにアップロードされます。システム内のすべての報告書は厳重に機密保持されます。

スピークアウト 報告書ではどのような情報を提供する必要がありますか?

報告書を（直接、オンライン、電話、または電子メールで）報告する場合は、E&C が懸念事項を評価および調査できるように、できるだけ詳細な情報を提供してください。

- **誰が?** 関係する個人の氏名
- **何を?** 懸念事項の背景、履歴、および理由
- **どこで?** 場所またはサイト情報
- **いつ?** 日時の情報
- **どのように?** 懸念事項を裏付けるための文書またはその他の関連情報

提供していただく情報が多いほど、E&C による調査が容易になります。

すべての事実がわからない場合はどうすればよいですか?

すべての事実を把握していなくても構わないのです。スミス E&C は、あなたがすべての答えを持っていたり、あなたに懸念事項を証明していただくことを期待しているわけではないのです。とにかく、できるだけ早く声を上げることをお勧めします。声を上げていただかないと、悪い状況がさらに悪化する可能性があります。違法行為についてあなたが知っているのか、あるいは疑がっているかどうかではなく、あなたが知っている情報で提起してください。E&C が問題を調査して、懸念の理由があるかどうかを判断できるようにしてください。

ご自身で問題を調査したり、より強力なケースを構築するための証拠を求めることは絶対におやめください。当社は、真摯に懸念を提起したことに対し、それが後に誤りや見当違いであることが判明しても、懲戒処分やその他の措置が取られないことを保証します。あるいは、報告者が真摯に懸念を表明し、それが最終的に立証されなかったとしても、あなたの報告対象となる人物や人々が偏見にさらされることはありません。これが、調査の機密を保持するもうひとつの重要な理由です。

保護: 守秘義務と報復禁止

すべての報告書は機密扱いになるのですか?

はい、すべての報告書は機密扱いになります。あなたの懸念に関する情報は、厳密に、その情報を知る必要がある限られた数の人々とのみ共有され、スミスのグループ倫理 & コンプライアンス チ

Speak Out Policy

Business Controls | 2.2 | Smiths Group Policies

Mandatory Policy

ームはこの情報を常にお知らせします。特定の人に報告を開示することが微妙な状況の場合は、倫理 & コンプライアンス チームが事前にこれについて討議します。これらの情報は、法律で義務付けられている場合、または重要な公益が危機に瀕している場合にのみ、この小グループの外部に開示されます。調査の一環として、苦情が申し立てられている関係者に対し、苦情が申し立てられている旨を通知する必要が発生する場合がありますが、ただし（法的に義務付けられている場合を除き）、あなたの個人情報が開示されません。あなたの個人情報の機密保持を確実にするために必要なあらゆる合理的な措置が取られます。

慎重に行動し、同僚や他の人と報告書の内容を話し合わないようにしていただくことが、当社が守秘義務を遵守する支援となります（もちろん、必要だと感じた場合は、いつでも専門家のアドバイスやサポートを受けることができます）。

スピークアウト ホットラインに匿名で報告できますか？

はい、匿名で提起し、懸念を共有することができます（あなたが拠点を置く国の法律で許可されている場合）。ただし、チームにとって、匿名で作成された報告書を調査することはより困難で、場合によっては不可能となることがある（たとえば、チームが誰に質問や説明をお伺いするための窓口がわからない場合など）ため、倫理 & コンプライアンスチームとの個人情報の共有をお勧めします。

私のプライバシーは保護されますか？

はい、スミスは、関係者全員のプライバシーを保護することをお約束します。当社は、個人データを不正なアクセスや処理から保護するために合理的なあらゆることを行います。スピークアウトの一環で取得された個人データは、この方針で説明する目的、または法律または重要な公益を遵守するためにのみ使用されます。個人データの保護の詳細については、[ここ](#)をクリックしてスミスの「プライバシーに関する声明」および[ここ](#)をクリックしてスミスの「従業員のプライバシーに関する声明」をご覧ください。

報復禁止:提起したあと、私はどのように保護されますか？

声を上げていただくことが期待されており、提起従業員は報復から保護されます。不正行為の疑いについて、誠意を持って懸念を表明いただくことにより困難な状況になることは決してありませんので、ご安心ください。脅迫や報復は、いかなる形態であっても絶対に容認されません。これには、懸念を提起したことに関連する、雇用状況への脅迫（解雇を含む）、懲戒処分（停職および降格を含む）、不利な扱いによる報復（トレーニング等からの拒否、活動や会議からの除外、または評価の低さなど）、脅迫またはハラスメント（嫌がらせ）が含まれます。

報復は重大な懲戒処分として扱われます。報復のリスクが高いと E&C チームが判断した場合、手順の問題として、調査が終了した後、報告側の当事者をフォローアップして追跡調査し、従業員が自分の役割において安全であると感じているか、報復が発生していないかを確認します。スピーク

Speak Out Policy

Business Controls | 2.2 | Smiths Group Policies

Mandatory Policy

アウト報告後いつでも、報復について懸念がある場合は、即時に E&C、法務チームのメンバー、または現地の人事マネージャーに連絡してください。

この方針が悪用された場合はどうなりますか？

故意に虚偽の告発を行ったり、捜査官に嘘をついたり、調査を妨害したり、調査への協力を拒否したりすることは、当社の企業倫理規範および **Smiths Values**（スミスの価値観）への違反となります。このような行為は、懲戒処分につながる可能性があります。

外部からの「告発」についてはどうですか？

利用可能なチャネルのひとつを通じて、社内で懸念を提起することを強くお勧めします。社内で声を上げることにより、当社に対し、問題を調査し、必要に応じて行動する機会を与えることとなります。このようにすることで、私たちはともに、スミスを実の意味で改善できます。ただし、外部機関（たとえば、英国の重大不正操作局や情報委員会のオフィス）への問題の報告を希望される場合は、先方のウェブサイトに報告方法に関する情報が掲載されています。英国に拠点を置いていない場合は、懸念の提起に他の外部機関を利用できます。詳細はオンラインで確認できます。

スピークアウト ホットラインを使用した後、何が期待できますか？

スミスは、違反行為の疑いのすべての報告を真剣に受け止めます。スピークアウト ホットラインに報告書を提出した場合、E&C チームができるだけ早急に受領を確認いたしますが、可能な限り懸念事項の処理と評価にかかる推定時間を考慮し、7 日以内にはご連絡させていただきます。それぞれの懸念事項の調査にかかる時間は、その性質によって異なります。より複雑な報告には、通常 1~3 か月を要します。報告側の当事者には、全体的な調査結果（つまり、不正行為が見つかったかどうか）は通知されますが、結果や実行された措置の完全な詳細情報は通知されません。これは、関係者全員の守秘義務、プライバシー、および法的権利のためです。調査が終了したかどうかにかかわらず、報告を行ってから 3 か月以内に、実行された手順の最新情報が提供されます。

誰が私の懸念に対処し、どのような行動を取りますか？

スミスが受領したすべての懸念事項は、安全が確保されたサードパーティのケース管理システムに記録されます。通常、調査は E&C が処理します。ただし、E&C では、他の職務（HR、HSE、内部監査、財務など）の専門知識が必要となることがあります。その他の職務の担当者が関与することはなく、また、前もって E&C からご相談させていただきます。E&C は、特定の状況（たとえば、スミス社内に必要な言語スキルを備えた調査員がいない場合や、調査においてスミスでは利用できない特定の種類の専門知識が必要な場合）において、サードパーティに調査を依頼することがあります（たとえば、法律事務所や会計事務所）。繰り返しますが、このようなケースでは事前にご相談させていただきます。

審査・調査のプロセスにはどのようなものがありますか？

スミスでは、2 段階のアプローチに従って懸念事項を処理します:

- **初期審査と問い合わせ** – 懸念事項を評価し、さらに調査が必要かどうか（必要な場合は誰が行うか）を決定します。追加情報を求められる場合があります。

Speak Out Policy

Business Controls | 2.2 | Smiths Group Policies

Mandatory Policy

- **詳細審査と調査** – 報告書にさらなる審査および調査が必要な場合は、E&C チームの担当者、または報告者の同意を得たうえで、別の職務についているが調査を実施するのに適した人物が調査に配置されます。調査は、客観的で事実に基づく分析に焦点を合わせます。必要に応じて、外部の専門家（弁護士や会計士など）が支援に従事する場合があります。彼らは厳格な守秘義務の下で業務を行い、E&C チームの監視下に置かれます。審査および調査は、関係するすべての当事者に関して、関連する法律と原則（公正な聴聞会を含む）に従って、独立性を保ち、公正かつ公平な方法で実施されます。

調査に関連してどのような支援を私が行うことが期待されますか？

調査に関与する場合は、協力してすべての質問に完全かつ正直に答えていただく必要があります。報告対象者を含むすべての関係者は、関係者の評判への不必要な損害を避けるため、守秘義務を負う権利があります。また、守秘義務は、スミススピークアウトシステムに対する人々の信頼を維持するためにも不可欠です。したがって、調査に参加したり、調査について学んだことがあれば、その事項を機密として保つ必要があります。

結果や実行された措置は私と共有されますか？

違法行為が判明した場合は、法律および当社の人材懲戒方針に従って適切な措置が講じられます。

調査やフォローアップに不安がある場合はどうすればよいですか？

あなたの懸念またはあなたに対して提起された懸念が適切に処理されていない、または調査が正しく行われていないと思われる場合は、下記に通知してください:

- スミスグループの顧問弁護士。または
- スミス人事部門グローバルディレクター。

グループゼネラルカウンセルと人事部門グローバルディレクターは、あなたの懸念を検討し、調査プロセスと結論を評価して、結果が適切であったかどうかを判断します。このスピークアウト報告書が財務上の不適切性に関するものである場合は、スミスグループの最高財務責任者（CFO）が評価に関与します。

私が調査の対象であり、その調査結果に同意しない場合はどうすればよいですか？

あなたが調査の対象であり、調査が適切に処理されていないと思われる場合、または調査結果が間違っていると思われる場合は、下記に通知してください。

- スミスグループの顧問弁護士。または
- スミス人事部門グローバルディレクター。

グループゼネラルカウンセルと人事部門グローバルディレクターは、あなたの懸念を検討し、調査プロセスと結論を評価して、結果が適切であったかどうかを判断します。このスピークアウト報告書が財務上の不適切性に関するものである場合は、スミスグループの最高財務責任者（CFO）が評価に関与します。

Speak Out Policy

Business Controls | 2.2 | Smiths Group Policies

Mandatory Policy

さらなるガイダンス

疑問の提起、スピークアウト ホットラインに関するご質問、疑問、またはご提案、またはその他の支援が必要な場合は、下記ご連絡ください:

- マネージャー、人事担当者、または法務チーム
- 倫理 & コンプライアンスオフィスに電子メールで «speakout@smiths.com»
- Protect (独立系内部告発慈善団体) <www.pcaw.co.uk>、+44 203 117 2520、または <whistle@pcaw.co.uk>

関連ドキュメント

その他のスミスグループ方針は、スミスの [イントラネット](#) または [ウェブサイト](#) に記載されています。

- 企業倫理規範
- サプライヤー行動規範
- 人権に関する方針